

編集部に寄贈していただいた書籍

(2010年1月～2010年12月)

- 穴沢眞著『発展途上国の工業化と多国籍企業——マレーシアにおけるリンケージ——』文眞堂 2010, xiii+293pp.
- 石井知章著『現代中国政治と労働社会——労働者集団と民主化のゆくえ——』御茶の水書房 2010, ix+211pp.
- 禹宗杭編著『韓国の経営と労働』日本経済評論社 2010, iv+305pp.
- エリン・E・ヤコブソン著 吉國眞一・矢後和彦監訳『サウンドマネー——BISとIMFを築いた男、ペール・ヤコブソン——』蒼天社出版 2010, xii+346+7pp.
- 袁堂軍著『中国の経済発展と資源配分 1860-2004』東京大学出版会 2010, xiii+277pp.
- 大里浩秋・貴志俊彦・孫安石編著『中国・朝鮮における租界の歴史と建築遺産』御茶の水書房 2010, xii+326+viipp.
- 大橋厚子著『世界システムと地域社会——西ジャワが得たもの失ったもの 1700-1830——』京都大学学術出版会 2010, x+474pp.
- 岡部恭宜著『通貨金融危機の歴史的起源——韓国、タイ、メキシコにおける金融システムの経路依存性——』木鐸社 2009, 322pp.
- 加藤剛編『もっと知ろう!! わたしたちの隣人——ニューカマー外国人外国人と日本社会——』世界思想社 2010, vi+272pp.
- 金井雄一・中西聡・福澤直樹編『世界経済の歴史——グローバル経済史入門——』名古屋大学出版会 2010, vi+358pp.
- 金子晋右著『戦前期アジア間競争と日本の工業化——インド・中国・日本の蚕糸産業——』論創社 2010, 267pp.
- 川端正久・武内進一・落合雄彦編著『紛争解決 アフリカの経験と展望』ミネルヴァ書房 2010, ix+311pp.
- 木南莉莉著『中国におけるクライスター戦略による農業農村開発』農林統計出版 2010, xiii+144pp.
- 木村大治・北西功一編『森棲みの生態誌——アフリカ熱帯林の人・自然・歴史 I——』京都大学学術出版会 2010, xvi+435pp.
- 木村大治・北西功一編『森棲みの社会誌——アフリカ熱帯林の人・自然・歴史 II——』京都大学学術出版会 2010, xiii+395pp.
- 古賀章一著『中国都市社会と草の根 NGO』御茶の水書房 2010, xi+252pp.
- 佐藤彰男・I. U. チョドリ・坂本真司・鳩貝耕一著『ヴィレッジフォン——グラミン銀行によるマイクロファイナンス事業と発展途上国開発——』御茶の水書房 2010, ix+188pp.
- 佐藤誠編『越境するケア労働——日本・アジア・アフリカ——』日本経済評論社 2010, xiv+252pp.
- 澤田貴之編著『アジア社会経済論——持続的発展を目指す新興国——』創成社 2010, ix+238pp.
- C. W. デ キーウィット著 野口建彦・野口知彦訳『南アフリカ社会経済史』文眞堂 2010, v+304pp.
- ジャン＝マリ・シュヴァリエ著 斎藤かぐみ訳『100語でわかるエネルギー』白水社 2010, 141+ipp.
- 末廣昭編著『東アジア福祉システムの展望——7カ国・地域の企業福祉と社会保障制度——』ミネルヴァ書房 2010, xiv+410pp.
- 杉原薫・川井秀一・河野泰之・田辺明生編著『地球圏・生命圏・人間圏——持続的な存続基盤を求めて——』京都大学学術出版会 2010, xx+427pp.
- 鈴木絢女著『「民主政治」の自由と秩序——マレーシア政治体制論の再構築——』京都大学学術出版会 2010, vi+298pp.
- 高橋伸夫編著『救国、動員、秩序——改革期中国の政治と社会——』慶應義塾大学出版会 2010, vii+310pp.
- 高橋基樹著『開発と国家——アフリカ政治経済論序説——』勁草書房 2010, xi+461pp.
- 田島俊雄・朱蔭貴・加島潤編著『中国セメント産業の発展——産業組織と構造変化——』御茶の水書房 2010, vii+344pp.
- 田辺明生著『カーストと平等性——インド社会の歴史人

- 類学——』東京大学出版会 2010, xii+568pp.
- 丹野勲著『アジアフロンティア地域の制度と国際経営——CLMVT（カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ）と中国の制度と経営環境——』文眞堂 2010, xii+327pp.
- 坪井正雄著『シンガポールの工業化政策——その形成過程と海外直接投資の導入——』日本経済評論社 2010, xi+222pp.
- トラン・ヴァン・トウ著『ベトナム経済発展論——中所得国の罫と新たなドイモイ——』勁草書房 2010, xii+322pp.
- 中江要介著『アジア外交 動と静——元中国大使中江要介オーラルヒストリー——』蒼天社出版 2010, xi+345pp.
- 中兼和津次著『体制移行の政治経済学——なぜ社会主義国は資本主義に向かって脱走するのか——』名古屋大学出版会 2010, viii+343pp.
- 長崎暢子・清水耕介編著『紛争解決 暴力と非暴力』ミネルヴァ書房 2010, ix+402pp.
- 長津一史・加藤剛編著『開発の社会史——東南アジアにみるジェンダー・マイノリティ・境域の動態——』風響社 2010, 540pp.
- 長谷川啓之編著『アジア経済発展論』文眞堂 2010, vii+288pp.
- 八田英二・廣江満郎編著『日本経済の探求——変化から転換へ——』晃洋書房 2010, vii+231pp.
- 韓載香著『「在日企業」の産業経済史——その社会的基盤とダイナミズム——』名古屋大学出版会 2010, v+432+24pp.
- ポーリン・ケント・北原淳編著『紛争解決 グローバル化時代・地域・文化』ミネルヴァ書房 2010, x+358pp.
- 益尾知佐子著『中国政治外交の転換点——改革開放と「独立自主の対外政策」——』東京大学出版会 2010, v+237pp.
- 増原綾子著『スハルト体制のインドネシア——個人支配の変容と一九九八年政変——』東京大学出版会 2010, xi+299+32pp.
- 丸山淳子著『変化を生きぬくブッシュマン——開発政策と先住民運動のはざままで——』世界思想社 2010, v+337pp.
- 三嶋恒平著『東南アジアのオートバイ産業——日系企業による途上国産業の形成——』ミネルヴァ書房 2010, viii+353pp.
- 溝端佐登史・小西豊・出見世信之編著『市場経済の多様化と経営学——変わりゆく企業社会の行方——』ミネルヴァ書房 2010, xi+256pp.
- 柳田義章著『東アジア諸国の産業の国際競争力——その変化と展望の統計分析——』文眞堂 2010, xxiii+289pp.
- 山下英次編著『東アジア共同体を考える——ヨーロッパに学ぶ地域統合の可能性——』ミネルヴァ書房 2010, xii+495pp.
- 李成日著『中国の朝鮮半島政策——独立自主外交と中韓国交正常化——』慶應義塾大学出版会 2010, vi+332pp.
- 早稲田大学ベトナム総合研究所編『東アジア新時代とベトナム経済』文眞堂 2010, vii+231pp.
- Kang-I Sun Chang and Stephen Owen eds., *The Cambridge History of Chinese Literature, Volume I: To 1375*, Cambridge University Press, 2010, xxxii+711pp.
- Kang-I Sun Chang and Stephen Owen eds., *The Cambridge History of Chinese Literature, Volume II: From 1375*, Cambridge University Press, 2010, xxxi+793pp.
- Koichi Fujita, *Re-thinking Economic Development: The Green Revolution, Agrarian Structure and Transformation in Bangladesh* (Kyoto Area Studies on Asia 19), 京都大学学術出版会 2010, xiv+302pp.
- Luiz Carlos Bresser Pereira, *Globalization and Competition: Why Some Emergent Countries Succeed while Others Fall Behind*, Cambridge University Press, 2010, v+256pp.
- Mariko Urano, *The Limits of Tradition: Peasants and Land Conflicts in Indonesia* (Kyoto Area Studies on Asia 20), 京都大学学術出版会 2010, xxxvi+270pp.